

08『精選 現代の国語』（現国 015-901）年間学習指導計画作成のための資料

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
4	1 知らないものに出会う (話すこと・聞くこと)	<p>ぐうぜん、うたがう、読書のススメ</p> <p>●読書の原体験を振り返り、読書の効用について理解する。(Aア・ウ)</p>	6	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 筆者にとって「読書の原体験」とはどのようなものだったのか、整理する。</p> <p>2 「自分の人生の局面を……巻き込まれてしまうものです。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>3 筆者の読書に対する考え方はどういうものか、タイトルにある「ぐうぜん」、「うたがう」、「読書のススメ」という語句を用いて説明する。</p> <p>4 「数々の偶然性」によって、新しい発見をした体験を発表し、話し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。((3ア)</p> <p>思・判・表</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(Aア)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(Aウ)</p>
		<p>〈対話の場〉としての図書館</p> <p>●図書館の役割について考え、本や他者と対話する意義を理解する。(Aア・ウ)</p>		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 どのように「複眼」が鍛えられるのか、説明する。</p> <p>2 タイトルに筆者はどのような意味をこめているか、説明する。</p> <p>3 本文をふまえて、〈対話すること〉の意義について話し合う。</p> <p>4 話し合いをふまえ、〈対話すること〉の意義について、自分の考えを四〇〇字程度の文章にまとめる。その際に次の四つの言葉を必ず用いる。 話し手・聞き手・他者・理解</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <p>・進んで読書の意義と効用について理解を深め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し、学習の見通しをもって自分の考えを発表しようとしている。</p> <p>言語活動例</p> <p>イ 報告や連絡、案内などのために、資料に基づいて必要な事柄を話したり、それらを聞いて、質問したり批評したりする活動。</p> <p>エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動。</p>
		<p>学びを広げる “この一冊”を伝え合おう 参考 対談 言葉の功罪</p> <p>●本の魅力が相手に伝わるよう、発表の仕方を工夫する。(Aア・ウ)</p>		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 伝えたい“この一冊”を選ぶ。</p> <p>2 伝える内容をメモに書き出す。</p> <p>3 “この一冊”について伝え合う。</p> <p>4 振り返る。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
5	2	水の東西	8	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 筆者が、「鹿おどし」に「なんとなく人生のけだるさのようなものを感じる」のはなぜか、まとめる。</p> <p>2 筆者は、「鹿おどし」と「噴水」とを、どのようなものとして捉えているか、本文中から対句的表現を三つ探し、それを手がかりに整理する。</p> <p>3 『鹿おどし』は、日本人が水を鑑賞する行為の極致を表す仕掛けだといえるかもしれない。」という理由を、本文の内容にそってまとめる。</p> <p>4 この文章の構成や展開の特徴を指摘し、その効果について話し合う。</p> <p>5 「〇〇の東西」というテーマで、地域や文化によって感じ方や考え方の違いを感じさせるものをあげ、その違いを簡潔にまとめる。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1)カ) <p>思・判・表</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫して、学習の見通しをもって紹介文などを書こうとしている。
		無彩の色		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 ネズミ色は「灰色と言いかえても、否定的な意味に結びつく。」とはどのようなことか、整理する。</p> <p>2 「感覚と感情の安定を支えているのは、実は目立たない灰色」といえるのはなぜか、まとめる。</p> <p>3 「人間は、……それを美しいと感じる」とあるが、筆者はその理由をどのように考察しているか、まとめる。</p> <p>4 次のように似た表現が用いられているが、それぞれの表現を通して筆者が伝えようとしたことを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ネズミ色の服を着た人が、煤けたような…」 「ネズミ色の服を着た人が、煤竹色の……」 <p>5 身近にある「灰色の美しさ」について調べたことをまとめ、発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>言語活動例</p> <p>イ 読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする活動。</p>
		学びを広げる 身近な日本文化を紹介しよう 参考 相手のことを考える		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 参考「相手のことを考える」を読み、「読み手に伝わる文章」を書くにはどのような工夫が必要か、話し合う。</p> <p>2 紹介文例「折り紙」を読み、文章の構成や表現の仕方、話題や内容について気づいたことを発表する。</p> <p>3 各自で紹介文の読み手を想定し、六〇〇字程度で身近な日本文化についての紹介文を書く。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
		●比較することで文化の特徴を明らかにする論理展開の仕方を理解する。(Bイ)			
		●色彩に着目して文化の特徴を論じる文章構成や表現の工夫の仕方を理解する。(Bイ)			
		●読み手の理解が得られるよう、文章構成や表現を工夫する。(Bイ)			

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
6	3 情報社会を生きる(読むこと)	ポスト真実時代のジャーナリズム ●筆者の述べる社会とメディアの関係を捉え、ジャーナリズムの役割について理解する。(Cイ)	6	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「感情的な訴えかけが……衝撃を私に与えた。」とあるが、それはなぜか、説明する。 2 「「情報をメディアから選択」するのではなく、「一体化できるメディアの選択へ」という変化」とはどのようなことか、説明する。 3 「その感情に乘れない人にまで……促してしまう」とはどのようなことか、説明する。 4 筆者は、「ポスト真実時代」に求められるジャーナリズムの役割とはどのようなものだと考えているか、まとめる。 5 筆者が「ポスト真実時代」に抱く「危惧」について、具体的にはどのようなものがあるか、実際の例を調べて発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(2)イ)
		SNSで暴れるナラティブ ●筆者の主張とその論拠を読み取り、現代SNS社会の課題について理解する。(Cイ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「人間にとってナラティブとはいったいなんでしょうか。」という筆者の質問に、養老孟司さんはどのように答えたか、まとめる。 2 「私はこの係数『a』がナラティブだと考える。」とあるが、筆者は「ナラティブ」をどのように理解したのか。次の言葉を手がかりに、説明する。 ・「よくも悪くもそのナラティブ・ベースの色眼鏡で……物事の捉え方も出力としての行動も違ってくる。」 3 「陰謀論はナラティブの典型のようなものでしょうか。」という筆者の質問に対し、養老孟司さんはどのように答えたか、まとめる。 4 現代SNS社会におけるナラティブの問題に対して、私たちはどのように向き合っていけばよいか、それぞれの経験をもとに話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。(Cイ) 主 ・進んで主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、自分の考えを深め、学習課題に沿って、理解したことや解釈したことをまとめて発表しようとしている。	
		学びを広げる情報社会について考えよう 参考 ネットが崩す公私の境 ●複数の文章や図表を関係づけて、自分の考えを深める。(Cイ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 この単元の二つの文章を読み比べ、それぞれの文章は現代の情報社会をどのように捉えているか、考える。 2 『令和5年版 情報通信白書』のデータなども参考にして、私たちが現代の情報社会を生きるためにどのような課題があるか考え、発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	言語活動例 イ 異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動。	

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
7	4 言葉と向き合う (書くこと)	ものとことば	6	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「ものとことばは、互いに対応しながら人間を、……押し込んでいる。」とはどういうことか、説明する。</p> <p>2 この文章に示された二つの対照的な考え方について、それぞれの要点をまとめる。</p> <p>3 「言語とは絶えず生成し、……もっている。」とはどういうことか、説明する。</p> <p>4 本文の「机」の例にならって、次のものをそれぞれの違いがわかるように定義する。 ①茶碗・皿・鍋 ②自転車・乗用車・バス</p> <p>5 日本語と他の言語で意味の区分が違う例を探し、発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。(1)ア) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) <p>思・判・表</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(Bア)
		語彙力を鍛える		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「お金を出す」「お金を払う」「お金を使う」という組み合わせはそれぞれどのような文脈で使われやすいか、話し合う。</p> <p>2 国語辞典で次の語を引き、どのような意味や使い方が説明されているか調べる。また、複数の国語辞典を引き、説明の仕方にどのような違いがあるか、比べる。 「着る」「はく」「かぶる」「かける」「つける」「締める」「はめる」</p> <p>3 「食べる」に関連する動詞の例を参考に、「見る」「会う」に関連する動詞をあげ、それぞれの動詞を用いた文を作って、意味や使い方の違いを説明する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、学習の見通しをもって言葉の意味や用法を説明する文章をまとめようとしている。 <p>言語活動例</p> <p>ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる活動。</p>
		学びを広げる オリジナル辞書を作ろう 参考 辞書は生きている		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 言葉を集める。</p> <p>2 辞書の原稿を書く。</p> <p>3 辞書の原稿を発表し合う。</p> <p>4 オリジナル辞書を作る。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
		●ものとことばの関係について考え、言葉のはたらきを理解する。(Bア)			
		●用例を検討して、語句の意味や用法について理解する。(Bア)			
		●言葉の使われ方を見つめ直し、意味や用法を的確に説明する。(Bア)			

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
9	5	贈り物と商品の違い ●モノを介したコミュニケーションのあり方から、人間や社会について考えを深める。(Aエ・オ)	6	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「商品交換と贈与を区別しているもの」は何か。二点あげて、それぞれについてまとめる。 2 『『経済化＝商品らしくすること』は、『脱経済化＝贈り物にすること』との対比の中で実現する。』とあるが、どういうことか、説明する。 3 「この交換の関係は、コミュニケーションの基盤となる『共感』を抑圧する。」について、どういうことか説明する。 4 「いろんなモノや人が一つの輪としてつながることで、その輪の一部を構成する『わたし』に感情が生じているといってもいい。」について、どういうことか説明する。 5 モノのやりとり(交換や贈与)から生まれた他者との「コミュニケーション」にはどのようなものがあるか、身近な例を取りあげ、発表し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。(1)イ 思・判・表 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。(Aエ) ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。(Aオ)
		経済の論理／環境の倫理 ●環境問題を通して、経済の論理について考えを深める。(Aエ・オ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「私的所有制とは、まさに環境問題を解決するために導入された制度だ」とあるが、どういうことか、『『共有地の悲劇』の解決策』という観点からまとめる。 2 「地球温暖化が深刻であるのは、……からです。」とはどういうことか、『『信任』という倫理』という観点からまとめる。 3 「追放したはずの『倫理』を再び呼び戻すために陥って」しまったのはなぜか、説明する。 4 「経済の論理」だけではなく「倫理」を適用して解決すべき問題を取りあげ、本文の内容と関連づけながら話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・進んで正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使い、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的に応じて、表現や進行など話し合いの仕方を工夫し、学習の見通しをもってワールド・カフェを行おうとしている。 言語活動例 ウ 話し合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録などを参考にしながら行う活動。
		学びを広げる ワールド・カフェを開催しよう 参考 「自己責任」の落とし穴 ●課題を共有し、進め方を工夫して話し合うことで、考えを広げたり深めたりする。(Aエ・オ)		◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 企画・運営チームを作る。 2 ワールド・カフェを企画する。 3 企画・運営チームの役割分担を決める。 4 事前準備を進める。 5 ワールド・カフェを開催する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
10	6 思考の枠組みを広げる(読むこと)	ありのままの世界は見えない ●「見る」とはどのようなことか、引用された事例をもとに筆者の考えを理解する。(Cア)	8	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 「人は、自分たちの文化的な文脈の中にあるものしか見えないのである。」とはどういうことか、「白人の衛生監視員」「村人」それぞれの場合に即して説明する。 2 マーシャル・マクルーハン、ティンバーゲン、オリヴァー・サックスの話は、筆者の主張を展開する上でどのようなはたらきをしているか、考える。 3 「ありのままの世界を、見ることはできない」のはなぜか、筆者の考えをまとめる。 4 「ありのままの世界は見えない」という筆者の主張について、どのように考えるか、自分の体験を手がかりにして話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(2)イ)
		「多様性」という言葉への違和感 ●体験に基づく「多様性」についての筆者の主張を理解する。(Cア)		◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 「多様性は不干渉と表裏一体になっており、そこから分断まではほんの一步なのです。」とあるが、それはなぜか、アンソニー・ウェストンの引用文に注意して説明する。 2 「人と人との多様性を強調することは、むしろこうした一人の人の中の無限の可能性を見えにくくしてしまう危険性をもっています。」とあるが、それはなぜか、説明する。 3 「多様性」という言葉について、筆者はどのように考えているか、整理する。 4 筆者のいう「分断の進行」について、具体的な事例を図書館やインターネットを利用して調べ、発表する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(Cア) 主 ・進んで個別の情報と一般化された情報との関係について理解し、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握し、学習課題に沿って引用や要約などをしながら論述しようとしている。
		学びを広げる相互理解を深めるために、今何が必要か考えよう 参考 「見える文化」/「見えない文化」 ●読んだ文章の内容をふまえて、具体的な事例を用いて自分の考えを論述する。(Cア)		◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 ・単元の二つの文章を参考に、「相互理解を深めるために、今何が必要か」というテーマで六〇〇字程度の意見文を書く。 1 テーマについて調べ、考えを広げる。 2 文章の構成を考え、意見文をまとめる。 3 意見文を読み合い、さらに考えを深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	言語活動例 ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする活動。

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
11	7 科学技術を問い直す (書くこと)	人がアンドロイドとして甦る未来 ●筆者が提起するアンドロイドをめぐる新たな問題について、根拠を示して自分の考えをまとめる。(Bウ)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「アンドロイドが可能とする特別な魔法」とは何か、説明する。 2 「アンドロイドとして甦らせることは、写真や映像の記録を残すこととは本質的に異なる」とはどういうことか、説明する。 3 「喪」に関する「もう一つ別の、しかしとても現実的な問題」とはどういうことか、具体的に説明する。 4 アンドロイドをめぐる、石黒浩教授の「ビジョン」とそれに対する夏目房之介氏の「疑義」について、それぞれどういうことかまとめる。 5 アンドロイドが生活や社会の中で活用されている事例について調べ、発表する。 6 筆者の提起している「私たちの社会はアンドロイドとどのようにつきあっていくべきなのか。」という問題について、自分の考えをまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ) ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。(2)オ)
		人間にできて機械にできないこと ●人間と機械の認識の違いを理解し、「人間にできて機械にできないこと」について、根拠を示して自分の考えをまとめる。(Bウ)		◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「機械が『椅子』を認識することは難しい」とあるが、その理由についてまとめる。 2 人間と「機械・ニューラルネットワーク」とでは、椅子の認識についてどのような違いがあるか、整理する。 3 「私たちが世界を認識できるのは、私たちが『身体』をもつからである。」とあるが、どういうことか、説明する。 4 「人間にできて機械にできないこと」には、どのようなことがあるか、理由も含めて自分の考えをまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。(Bウ)
		学びを広げる 調べたことをレポートにまとめよう 参考 インタビュー AIと私たち ●調べた情報の妥当性や信頼性を吟味して自分の考えをまとめる。(Bウ)		◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 ・ロボットや人工知能、情報通信などの科学技術の発展が私たちや私たちの社会をどう変えるか、図書館やインターネットを利用して調査し、その結果を一六〇〇字程度のレポートにまとめる。 1 問いを設定する。 2 資料を集める。 3 資料を分析し、答えを導く。 4 構成表を作成し、レポートを書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	言 ・進んで情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、学習の見通しをもって調べたことや考えたことをまとめようとしている。
				言語活動例 ウ 調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる活動。	

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
12	8	木の葉と光 ●「環世界」の概念を理解し、環境問題を捉える視点について考えを深める。(Aイ・エ)	8	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「ナミアゲハは日がよく当たっている木のこずえに沿って飛ぶのである。」とあるが、それはなぜか、整理する。 2 「彼らにとって大事な世界というのは、そのような日の当たった草原であるということになる。」とあるが、それはなぜか、整理する。 3 「同じ一つの場所を見たときに、人間とモンシロチョウとアゲハチョウとでは、世界は全く違っている。」とあるが、どういうことか、まとめる。 4 「我々が何気なく『環境』という言葉を用いるとき、そこには常にこのような環世界の問題が関わっているのである。」とあるが、どういうことか、説明する。 5 環境問題を考えるときに、筆者のいう「環世界」をどのように捉えたらよいか、話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・推論の仕方を理解し使っている。(2)ウ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ)
		自然をめぐる合意の設計 ●多面的思考という観点から、自然をめぐる合意形成について考えを深める。(Aイ・エ)	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「遠景の語り」「近景の語り」とは、それぞれどのようなものか、まとめる。 2 「都会の人は絵を見るように自然を見ます。しかし、我々は絵の中で暮らしているんです」とはどういうことか、説明する。 3 「そうした語りをもつ多面性や多様性はいかにして担保されるのだろうか。」とあるが、この問いについて筆者はどのように考えているか、説明する。 4 「自然保護」をめぐる意見が対立している問題には、どのようなものがあるか。図書館やインターネットを利用して調べ、考えたことを発表し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(Aイ) ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。(Aエ)	
		学びを広げる マイクロディベートをやってみよう 参考 ヒグマとどう共生するか ●異なる立場に分かれ、それぞれの論理の展開を考えて討論する。(Aイ・エ)	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 テーマについて問題意識をもつ。 2 立論を作成する。 3 異論の立論を作成する。 4 マイクロディベートを行う。 5 マイクロディベートを振り返る。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	主 ・進んで推論の仕方を理解し、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	
				言語活動例 ア 自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする活動。	

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
1	9	生命について考える(書くこと)	8	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 文章の四つの部分、それぞれの内容を要約し、小見出しをつける。</p> <p>2 「むやみやたらに恐怖を抱いたり、……畏敬の念をもつべき」とあるが、なぜか説明する。</p> <p>3 「正しく畏れる」とはどういうことか、筆者の考えを説明する。</p> <p>4 「コロナ禍が人間に問いかけた課題」について、具体的な事例を調べる。</p> <p>5 調べたことをふまえ、最終段落の筆者の主張に留意し、ポストコロナのあり方について自分の考えをまとめ、発表し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方を理解し使っている。(2)ウ) ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ) <p>思・判・表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(Bア) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(Bエ)
		ヒトゲノム研究に関する基本原則		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「1. ヒトゲノムは、人類の遺産である。」という原則で「財産」ではなく「遺産」という言葉が用いられたのはなぜか、説明する。</p> <p>2 「3. 人はゲノムのみによって……」とあるが、このような項を設けた理由を説明する。</p> <p>3 生命倫理をめぐる問題にはどのようなものがあるか調べる。</p> <p>4 調べたことをふまえ、生命倫理について自分の考えをまとめ、発表し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで推論の仕方を理解し、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりし、学習の見通しをもって自分の意見や考えを論述しようとしている。
		命は誰のものなのか		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 フランスの人々は、「この事件」のどのような点に衝撃を受けたのか説明する。</p> <p>2 カレン・アン・クインラン事件について、本文の記述を要約する。</p> <p>3 筆者は「命が尊いゆえん」をどのように考えているか、筆者の経験をふまえてまとめる。</p> <p>4 「安楽死」をめぐる問題にはどのようなものがあるか調べる。</p> <p>5 本文と調べたことをふまえ、「命の尊さ」について自分の考えをまとめ、発表し合う。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>言語活動例</p> <p>ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動。</p>
		学びを広げる小論文を書こう 参考 我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 テーマについて調べ、考えを深める。</p> <p>2 考えをまとめ、構想メモを作成する。</p> <p>3 下書きを書く。</p> <p>4 推敲する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
		<p>●ピュシスとロゴスの概念を理解し、新しい時代の生命哲学について考えをまとめる。(Bア・エ)</p>			
		<p>●ヒトゲノムの意義をふまえ、生命倫理について考えをまとめる。(Bア・エ)</p>			
		<p>●体験に基づく筆者の主張を読み取り、「命の尊さ」について考えをまとめる。(Bア・エ)</p>			
		<p>●調べたことをもとに自分の考えを論述し、読み手の立場に立って文章を整える。(Bア・エ)</p>			

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
2	10	異なる文化との出会い	6	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「日本においては許されないとされる人物が、……」や「海外で許されないことが……」とあるが、そのようなとき、「異文化理解」とはどのようにあるべきだと筆者は考えているか、説明する。</p> <p>2 「我々人間の精神性、……複合的である」とはどうか、筆者の考えを説明する。</p> <p>3 「有用なフレームは、……役に立つ」とはどうか説明する。</p> <p>4 異なる文化との出会いにおいて、具体的などのような教養、素養と訓練が必要となるか、考えたことを発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(2)イ) <p>思・判・表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。(C)イ) <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価し、学習課題に沿って理解したことや解釈したことを発表している。 <p>言語活動</p> <p>イ 異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動。</p>
		共生社会で求められる「相対的よそ者」の視点		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「このような『評価』の内面化をほとんど誰しもが免れていない」について、「評価」が何を指しているのかがわかるように説明する。</p> <p>2 『「相対的よそ者」という見方を身につけ、実践する』とはどうか、説明する。</p> <p>3 「新たな創造の契機にもなる」とあるが、「新たな創造」とはどうか。次の言葉を手がかりに話し合い、考えたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「だが、それが『自然の衝動』ではなく、……脱構築することも可能なはずである。」 ・「アジェは『よそ者＝外国人』という考え方が……と批判する。」 <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	
3		グローバリゼーションの光と影		<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 グローバリゼーションとナショナリズムが「相互に高め合う補完関係」にあることの例として筆者がどのようなものをあげているか、整理する。</p> <p>2 「ナショナリズムとグローバリゼーションの対立と称される現象」がある理由を筆者はどのように説明しているか、まとめる。</p> <p>3 「グローバリゼーションの被害者は……競争の強化を唱える」とはどうか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>4 「どちらか一方に肩入れするという議論は、その構図自体が不毛」とあると筆者が考えるのはなぜか、まとめる。</p> <p>5 「グローバリゼーションとナショナリズムの対立」として議論される事例にはどのようなものがあるか。図書館やインターネットを利用して調べ、発表する。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	

月	単元名	教材名 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準
		<p>学びを広げる ポスターセッションで発表しよう 参考 ガンベリ砂漠を目指せ</p> <hr/> <p>●読んだ文章の内容をふま え、調べてわかったことをま とめて自分の考えを深め る。(C1)</p>		<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見 通しをもつ。 1 ポスターを作成する。 2 役割を分担してポスターセッションを行う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自 分の言葉でまとめる。</p>	